

## ファミリーデー休暇



### 広栄化学工業株式会社

管理部 部長  
下田 功男さん

#### 企業プロフィール

- 事業内容：化学工業品の製造、加工、販売等
- 従業員数：60名(2012年4月現在)
- URL：<http://www.koei-chemi.co.jp>

## 次世代育成支援の活動をベースに 休暇制度を拡充

### 実践！ こうすればできる！ こうすればのびる！

- ① 社員代表の委員会を作って検討する
- ② 社員の声をすくいあげて反映する
- ③ 利用しやすい休暇名称を考える

### ファミリーデー休暇

ファミリーデー休暇を制定したのは、子育てを支援する休暇制度を考えようと取り組んだことが始まりでした。弊社では「楽しい職場と業績向上を両立できる社内環境を作る」を経営理念に掲げ、従業員の仕事と家庭の両立を目指しています。そうしたなか、2004年に当社社長が習志野市の「次世代育成支援対策行動計画策定」の懇話会に参画したことで、企業の担う責任の大きさを改めて認識し、次世代育成支援を具体的な形で実現するべく活動が始まりました。

翌2005年からは社内にワーク・ライフ・バランス委員会を設置し、働きやすい職場作りのための活動に取り組んでいます。委員会は女性パート社員、子どものいる男性、部長クラスの管理職など、社長が任命したメンバーからなります。定期的に会議を開き、議事録を食堂に掲

示しています。委員会の活動の一環として全社員を対象としたワーク・ライフ・バランスに関するアンケートを実施、その結果を踏まえて行動計画を策定し、全社員に配布しています。2008年には習志野市の「子育て支援先端企業」の第1号の認定をもらい、社外においても弊社の取組や活動に対して高い評価を得ています。

ワーク・ライフ・バランス委員会において、次世代育成支援策の一つとして休暇の制定について検討が始まりました。子どものいない社員にとっても公平な制度とするために誕生日休暇の形をとることとし、この休暇制度の本来の目的である子育て支援の意味合いを込めてファミリーデー休暇と名づけました。本人の誕生日に1日、休暇を取得することができ、誕生日に取得できない場合には翌月まで取得可能としています。それでも仕事の都合でどうしても翌月までに取れないという場合には、個別に対応しています。

この休暇は正社員だけでなく、嘱託社員、契約社員、パート社員にまで適用しているのが特徴です。2011年に実施した「ワーク・ライフ・バランスに関する従業員アンケート」では、実施してよかった取組の最上位にファミリーデー休暇があがりました。取得できる期間が決まっていることが、かえって休暇を取得しやすくしているようです。いつでも取得できる年次有給休暇よりも取

りやすいということで、全員が取得しているという結果になりました。

### さらなるワーク・ライフ・バランスの充実

休暇制度ではありませんが、ワーク・ライフ・バランス委員会の行動計画にある子育て支援の一環で「家族と夕食を食べる日」という、週に2回のノー残業デーを実施しています。家庭を大事にすることは社会の原点でもありますので、「夕食を家族と食べてコミュニケーションを図ってほしい」という思いを込めてこのような名称としました。この日は社内放送をして、各職場の協力を得ながら計画的に仕事を進めてもらうようにしています。

半日休暇の取得可能回数の拡大も行いました。年次有給休暇の半日取得ということですが、従来は年4回の取得が認められていました。社員の声を聞くと、病院に通院したり、役所に行くなどの用事が多くあるのもう少し使えるようにしてほしいということでした。

検討の結果4回から8回に増やし、子育てや介護など特別な事情がある場合には最大12回まで取得可能としました。

現在の行動計画の中で検討しているのは「子の看護休暇」です。無給だとなかなか利用できないので、有給にする方法を模索しており、繰り越すことのできない年次有給休暇を積み立てた「療養休暇」の使用できる範囲を拡大する案などを検討しているところです。「介護休暇」にも適用できるようにすれば、会社の負担もなく、社員も安心して看護や介護にあたることができるのではないかと思います。

ワーク・ライフ・バランスを推進できる企業は、経営管理がうまくいっている企業ということができると思います。弊社の場合も、誰もが休暇を取れるということは交代要員が育つことにもつながり、多能工が進むことにもつながっています。また、男性中心だった職場に女性を増やし、男女とも働きやすい職場を目指しています。



管理部 受付事務所  
吉橋 宜江さん  
(ファミリーデー休暇)

ファミリーデー休暇はとても取得しやすい休暇です。家族や自分のための休暇という意識が社内に浸透していますので、気兼ねなく取得することができます。平日の空いている時間にデパートや映画館に行けるので、混雑を気にせずのんびり過ごせるのが何よりうれしいですね。家族で旅行に行く場合も、金曜日にファミリーデー休暇を取得すれば週末をのんびりと過ごせますし、金曜日は平日料金で宿泊できるというメリットもあります。職場のみんなも「せっかくだから土日をつなげて休んだら？」と言ってくれるので、とてもありがたいです。人によっては年次有給休暇をつなげて取得し、海外旅行に行くケースもあります。このような休み方ができると、リラックスできてストレ

ス解消にもなります。誕生日に取得する休暇なので、会社が誕生日を祝福してくれている気持ちになり、これからも頑張って仕事をしようという意欲もわいてきます。

社員食堂には全員の誕生日の表が貼ってあります。社内イントラネットの出退勤のページにも、誰がファミリーデー休暇を取得しているのか記載されているので、休み明けの人に「どこかに旅行してきたの？」などと、つい話しかけてしまいます。日頃あまり話をしない人とも、ファミリーデー休暇が共通の話題になるので、社内のコミュニケーションの活性化にも効果的だと思います。

# VOICE